

訓練カリキュラム

訓練科名	介護職員初任者養成科（短期間）			
訓練番号	5-04-30-002-05-0146			
訓練期間	令和5年2月20日（月）～令和5年4月6日（木） （約1.5 か月・訓練日数 31 日）			
訓練概要	訪問介護や施設介護における入浴・排泄・食事等の身体の世話、食事・洗濯・炊事等の日常生活の自立支援に関する知識及び技能・技術を習得する。			
訓練修了後に取得できる資格	介護職員初任者研修課程修了			
訓練内容	科目	科目の内容	時間	
	学科	職務の理解	多様なサービスの理解 介護職の仕事内容や働く現場の理解	6
		介護における尊厳の保持・自立支援	人権と尊厳を支える介護 自立に向けた介護	9
		介護の基本	介護職の役割、専門性と多職種との連携 介護職の職業倫理 介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全	6
		介護・福祉サービスの理解と医療との連携	介護保険制度 医療との連携とリハビリテーション 障害福祉制度及びその他制度	9
		介護におけるコミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション 介護におけるチームのコミュニケーション	6
		老化の理解	老化に伴うところとからだの変化と日常 高齢者と健康	6
		認知症の理解	認知症を取り巻く状況 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 認知症に伴うところと体の変化と日常生活 家族への支援	6
		障害の理解	障害の基礎的理解 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的理解 家族の心理、かかわり支援の理解	3
		ところとからだのしくみと生活支援技術（基本知識）	介護の基本的な考え方 介護に関するところのしくみの基礎的理解 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	12
		就職支援	職務経歴書・履歴書作成指導・面接指導等	6
		安全衛生	労働安全衛生について	3
		振り返り	振り返り 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	4
		修了評価	筆記試験（介護職員初任者研修事業実施要綱に基づく全科目筆記試験）	2
	実技	ところとからだのしくみと生活支援技術（生活支援技術）	生活と家事 快適な居住環境と介護 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 入浴・清拭保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	54
		ところとからだのしくみと生活支援技術（生活支援技術演習）	介護過程の基礎的理解 総合生活支援技術演習	12
		緊急時の介護	とっさの症例判断と対応について	6
	その他	職場見学	職場見学：通所介護の見学、喜成会デイサービスセンター（4時間）・訪問介護の見学、喜成会ホームヘルプサービス（2時間）	6
		職場体験	施設介護の体験、特別養護老人ホーム喜成会（6時間） グループホームの体験、グループホーム紀伊（3時間） 看護小規模多機能型居宅介護の体験、看護小規模多機能紀伊（3時間）	12
合計時間 168 時間（学科 78 時間、実技 72 時間、その他 18 時間）				

* 上記訓練時間とは別に開講・修了に係る行事を行います。訓練中は上履きをご持参ください。

* 実技及び職場見学・職場体験については、ジャージ（上下）・スニーカー等が必要です。

* 職場見学・職場体験については、開始時抗原検査を実施します。